

平成31年度 関金みのりグループホーム 事業計画

事業所名	関金みのりグループホーム		
施設長・管理者名	施設長：西村 允也 管理者：島田 千夏		
実施事業	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護		
開設年月日	平成17年1月1日		
所在地	鳥取県倉吉市関金町関金宿1429番地2		
正規職員数	1名		
準職員数	6名		
契約職員数	11名		
定員数等	18名	目標利用者数17.6名/月	利用率98%
職員配置	管理者1名・介護支援専門員1名・介護員13名・調理員1名 夜勤専門員2名 計18名		

1 基本方針

認知症になっても、地域の中であたりまえの暮らしができるように、ご利用者の個性を尊重し、家庭的な環境のもとで一人ひとりの力を引き出せるように支援します。

ご利用者の心身の状態を把握し、医療機関と連携を図り適切な対応に努めます。
地域の一員として、地域活動を通じ馴染のみ関係を大切にしていきます。

2 運営

(1) 「こちよいい」と感じていただける生活環境を整えます。

ご利用者様、お一人ひとりがのんびりとくつろげる居心地の良い生活空間を作り毎日よい表情が伺えるよう努めます。

(2) お一人おひとりの気持ちを大切に、持てる力を引き出す支援に努めます。

ご利用者様が元々備えておられる力、少しのお手伝いがあればできる事、その力を引き出し機能の維持と向上へつなげていきます。

(3) 安定した生活支援へ向けて、健康管理を適切に行います。

気づきの支援で適切に対応ができ、医療と連携して病状の安定へつなげます。

(4) 音楽や体操を通して心も体も健康で過ごせるよう支援していきます。

音楽に合わせたリズム運動やリラククス体操で、心身の癒しに向けた支援を目指します。

(5) 地域とのつながりを大切に、防災体制を強化していきます。

近隣地域の馴染みの方々と交流するため、地域へ出向き、地域から施設への関係作りを定着し、防災時の協力体制をより強固なものにしていきます。

(6) 生活支援

① サービス計画に沿った支援の提供

ご利用者様やご家族様のご意向や状態把握に努め、個別性を大事にしたケアプランを作成し、評価・モニタリングを行いながら、皆様が安心安全な生活が継続できるよう支援します。

② 日常生活の支援

ご利用者様が共同で生活される「住まい」としての日常的な生活を支援、掃除や洗濯、食事作りなど一緒におこない、出来ない事は尊厳を大事にさりげなくお手伝いします。

③ 生活リハビリ

ちぎり絵や、折り紙、塗り絵などの手作業、歌や体操など残存能力に働きかけ、生活の中でリハビリできるように支援します。

④ 楽しみのある暮らし

できる事やしたい事、趣味や特技など個別の支援でその人らしい楽しみが提供でき、和やか落ち着いた環境のもと認知症状の緩和が図れるよう支援に努めます。

3 主な実施事業

(1) 施設整備事業

- | | |
|-----------------|-------|
| ① 1階、2階居室のクロス補修 | 236千円 |
| ② ダイニングチェアの更新 | 364千円 |

(2) 事業活動

① 地域との交流

ア 保育園や小学校の行事に出かけたり、町内のお祭りや文化祭に参加したり地域の一員として、元気に地域交流が図れ、ご利用者様の笑顔が引き出せるよう支援します。

イ 交流の花道（コスモスプロジェクト）関金コスモスロードを作り、関金三施設で花を育てながら、関金保育園との交流を図ります。

ウ 年2回（春、秋頃）グループホームで喫茶コーナーを開き、地域の方とご利用者様との交流を図ります。

エ 3月には、地域の民生委員の方にお世話になり、恒例のひな祭り茶会を開催します。お茶とお花、おひな様や音楽で五感に働きかけ、和やかでくつろげる交流を支援します。

② 関金インターケアハウスと合同で4月に創立記念祝賀会、9月に敬老会、10月にグランドゴルフ大会を開催し、活動参加の場を設けます。

③ 関金インターケアハウス・関金ラジュームデイサービスと合同で、関金三施、設ラ・イングル祭を開催し、ご家族様や地域との交流を図ります。

④ 口腔ケア・嚥下体操により誤嚥や感染症予防に努めると共に、嚥下機能の向上を目指します。

⑤ リラックス体操や生活リハビリで、身体機能の維持向上を目指します。

4 安全管理・衛生管理

(1) 「気づき」の観察力を高めるため、ヒヤリ・ハットを実践することにより、リスクマネジメントとして分析し、事故防止に努めます。

(2) 設備・備品等の整理整頓・福祉用具のメンテナンスなど環境整備に努めて行きます。

(3) 感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。

5 防火・防災・救助活動

災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。

- (1) 防災管理者が中心に、入居ご利用者様の実態に即した防災訓練（年2回）の計画、実施を行い、また、防災活動への参加、地域防災情報の把握に努めます。
- (2) 有事に迅速な対応ができる環境整備を進めるとともに、スプリンクラー等の点検、防災設備の点検を行い、ご利用者様の安全の確保を行います。
- (3) 近隣自治公民館との連携による緊急時避難体制を確立します。
- (4) 地震、風水害等の自然災害及び火災に備え、食料品・日用品・防災品・衛生品等の必要品を備蓄します。

6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図るとともに、専門知識及び技術の向上を目指します。

- (1) 参加外部研修・発表会への参加
 - ① 認知症介護実践者研修・キャリアアップ研修・認知症リーダー研修等を通じてモチベーションアップや自己研鑽を促します。
 - ② 介護専門職研修会の参加を通じ、介護技術の習得を目指します。
- (2) 法人内部研修への参加

法人内の研修は、研修内容に応じた職員が参加して必要な知識を習得し施設の業務に生かします。
- (3) 施設内のOJT・職場研修の実施
 - ① 計画的に毎月施設内勉強会を行っていきます。
 - ② 外部で研修してきた事に関しては、施設内で伝達共通理解を図ります。
 - ③ 実務経験の少ない職員については、知識・技能・経験の高い職員により実務を通じた研修を行い、施設全体のレベルアップを図ります。
- (4) 職員の資格取得のための取り組み

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップを促します。

7 各種団体との連携と地域交流

ご利用者様とご家族様、保育園、地域・団体等との交流の場を設ける等しながら、社会の一員として積極的に社会交流が図られる事を目指していきます。

広報紙「みどりの便り」を発行して、ご家族様や地域の方に施設での情報を発信し、地域に開けたグループホーム作りを推進していきます。

学生、ボランティア等の体験学習の場となるよう、積極的に受け入れを行っていきます。

(1) 広報紙の発行・配布

発行回数：「みどりのたより」年6回

配布先：倉吉市・地域包括センター・児童館・ご家族様等

(2) 地域交流行事

年8回

5月：関金保育園交流

6月：ふれあい喫茶（地域住民の方ご招待）

7月：関金保育園七夕交流会

9月：御幸行列（神興祭）

10月：関金文化祭参加・関金3施設合同地域交流まつり

11月：ふれあい喫茶（地域住民の方ご招待）

3月：ひな祭り茶会（児童民生委員さんによるボランティア）

8 年間行事等

別紙のとおり